

## Economy Meeting から見え・考えた「北海道 SDGs 推進ビジョン（原案）」 への意見書

北海道中小企業家同友会

清水 誓幸

※こちらの意見書は北海道が9月に（仮称）北海道 SDGs 推進ビジョン（原案）に対比して記載しております。

1.

5 ページから 6 ページ

ビジネスチャンスの拡大や企業の持続可能性の向上 について

6 ページの 3 行目

「企業が SDGs への取組をアピールすることで・・・」と書かれているが、持続可能社会に向けたバランスの良い取組であるかどうか、現段階では審査する機能はない。一部で取り組んでいても、違うところでは持続に反していることが行われている事もありえる話であり、「SDGs ウォッシュ」の懸念もある。その様な現状においては、慎重な対応が求められるため、「企業がバランスの取れた SDGs の取組を続けることで、企業イメージの向上・・・」と変えるべきと考える。

また、7 行目以降の中に、「企業が SDGs に取組むことで、フェアトレードを組み込んだ持続可能なサプライチェーンが創出され、ビジネスによって貧困や人権に課題を解決することが期待される」などの明記が必要だと考える。

2.

① 生活・安心 について

健康・福祉

9 ページから 12 ページ

ゴール 1 働きづらい環境や立場に置かれている多様な方々の存在も明記してほしい。

（例 病気や障がいを抱える人々、LGBT、女性、ひとり親世帯 など

また低所得者を減らすことを明記すべき。

（一般的には 300 万円以下が低所得者と言われているが、北海道の市町村別の平均所得を見ると、179 市町村の内、130 市町村が 300 万円以下である）

ゴール 3 東京都の受動喫煙防止条例を見習い、全ての職場で実現させることが必要と考える。

外国人労働者の健康と安全を日本人と同等にするべき。

ゴール 8 「健康を害する長時間労働を無くす」 を追加すべきと考える。

#### 環境

##### 13 ページ

- ゴール 1 1 課題として、放置された危険な住宅など建築物の処理課題がある。  
過疎化や高齢化が極度に進んだ市町村の持続の在り方を町の人々と考え  
取り組むことが必要と考える。
- ゴール 1 2 企業側は過剰包装を減らすこと、フードロスを減らすこと、容器など自然  
に戻せる素材等への転換を目標とする必要がある。
- ゴール 4 消費者はゴミが出やすい商品を選ばない、食物残渣が極力出ない食べ方、  
食物残渣が大量に出る食物を選ばないなど、消費者教育を推進する必要  
がある。
- ゴール 8 フードロス、製造品廃棄の裏側には、働き甲斐の搾取となり労働生産性を  
下げる労働（原料の無駄遣い、廃棄処理費用、価値に変わらない労働）な  
どが隠されているため、フードロス、過剰生産、廃棄を減らすことが働き  
甲斐、賃金上昇につながると考える。

#### 安全・安心 15 ページ

- ゴール 1 0 外国人労働者、非正規雇用者、性別など、同一な仕事での不平等のない北  
海道にする必要がある。
- ゴール 1 6 フェアトレードを実現したグローバル社会が必要である。

## ② 経済・産業について

#### 農林水産業 18 ページ

- ゴール 3 労働者が高齢化している農林水産業では、北海道民の食を継続的に供給  
していただくために、特に働く人々すべてが健康であることが大切であ  
る。
- ゴール 8 農林水産業に従事している方たち全ての労働環境が一般労働者と同等に  
なること。
- ゴール 9 上記のためにも技術革新や新たなインフラ（マイレージ）に力を入れる必  
要がある。

#### 地域産業と研究開発 20 ページ

- ゴール 4 質の高い教育を受けられることによって、付加価値の高いモノづくり、サ  
ービスづくり、が実現する基盤整備が必要です。

#### 中小・小規模企業 21 ページ

- ゴール 8 ・フェアな利益、フェアな賃金などの健全な経営により持続可能な経済循

環に寄与している、または目指している中小・小規模事業者を評価することが重要である。

- ・企業数を減らす原因の一つが後継者不足であるが、企業価値を高め、継承者が出る取組が重要となっている。

- ・また、RCE 北海道道央圏協議会の協働プロジェクトとして北海道大学大学院環境科学院が中心となって実施した SDGs の活動に関するアンケート結果（以降、「アンケート結果」）により労働慣行に対する意識が低く実施も進んでいないことが明らかとなり、意識改革、実施が必要とされる。

- ・行政も企業も異動を当然とする習慣の労働環境があるが、単身赴任による二重生活が家庭破壊を生むなどの課題や、離れた親の介護のための課題などがあり、働き甲斐を喪失、人材不足の原因になっており、柔軟な労働条件が求められている。

ゴール 4 小中学生の頃より、働くこと、多様な産業、事業の社会的価値や役割を学ぶ機会を授業の中に取り入れる「キャリア教育」の必要性高まってきている。  
(仕事のイメージが無いままの就職での挫折、キツザニアなどの人気)

ゴール 3 仕事に従事する人すべての健康を考えた企業の体制が必要である。

ゴール 1

- ・働きづらい環境や立場に置かれている多様な方々やその家族が安心できる労働環境が望まれている。

- ・低所得者を減らす。

ゴール 5

- ・性別に分け隔てない、差別されない働く環境が必要である。

- ・セクハラのない職場環境が必要である。

- ・女性の管理者、リーダーが増える環境づくりのためのジェンダー平等教育が必要である。

ゴール 9 環境負荷が極力無い、技術革新を追求し続ける必要がある。

ゴール 1 0

- ・ビジネス対ビジネス ビジネス対消費者 の取引の中の不平等を無くす必要がある。

また、労働者への人権意識が低いというアンケート結果を受け、人権意識の向上を図る必要がある。

ゴール 1 1 中小・小規模事業者は、社会的責任において持続可能なまちづくりや地域社会に寄与することが必要です。

ゴール 1 2 廃棄物の極力出ない製品づくり、包装の在り方、残渣の削減、長く使える製品づくりなどの努力を行うことが必要です。

ゴール 1 3 災害などによる影響を極力減らすため、また、事業の早期復旧のための措置（BCP 事業継続計画）を企業それぞれが取組む必要がある。

ゴール 1 4 事業規模に拘らず事業活動による廃水の成分確認と環境管理をする必要がある。

ゴール 1 5 事業規模に拘らず作業場近隣までの土壌汚染を意識し確認管理する必要がある。

ゴール 1 6 パワハラや遣り甲斐の搾取などが無い職場環境が必要である。

ゴール 1 7 事業のサプライチェーンだけに留まらず、あらゆるステークホルダーと繋がり課題解決のために協力することが必要である。

エネルギー 22 ページ

ゴール 9 大手電力会社に依存しない、小規模地域でのスマートグリッドの開発と促進が必要である。

観光 23 ページ

ゴール 8 観光客は増えているが、観光地域の平均所得は北海道の中でも平均以下が殆どである。 地域の人々が潤う観光の在り方が必要である。

雇用 24 ページ

ゴール 8 ・北海道の労働時間は全国平均より長く、所得は平均以下であることは、働く地域としては魅力を感じてもらいづらい環境である。時間当たりの付加価値の向上を図ることが必要である。

ゴール 5 ・ジェンダーによらない平等な就業環境整備が必要である。

ゴール 1 1 ・地域の多様な働き手を受け入れる環境を、整え、雇用を図ることが持続可能なまちづくりに必要である。

### ③ 人・地域について

教育 28 ページ

ゴール 4 ・貧困家庭であっても教育を受けることが出来る社会づくりが必要である。

・社会人になってからでもスキルを付けるための場や仕組みが必要であることと、支援と理解が重要である。

文化 30 ページ

ゴール 4 ・先住民族のことを全ての北海道民が認識する教育が必要である。

インフラ 30 ページ 70 ページに関連

ゴール 9 ・北海道の広さ、広さに対する交通量、などを鑑み、交通法規は北海道独自の規制を考え、実施することで、お金を掛けずにインフラ整備の効果を生むことに繋がる。(道東、道北地域の住宅や街以外の一般道の速度規制を 10 キロ上げるなど)

・仕事において重要度が高くなっているネット環境において、災害時にもダウンしない通信インフラが必要である。

## (2) 世界に誇れる北海道の価値と強み

## ①魅力となる雪や寒さ 33 ページ

本道の価値と強み 「続可能な観光業を促進することなどの目標が掲げられています。」と書かれているが、そこでの付加価値額（平均所得）が低ければ、働いている人々が豊かになれず、働き甲斐も経済成長も望めないのではないのか？ 観光の付加価値を上げていくことが重要であると考えます。

## 優先課題 I

### 平和な社会づくりの推進 50 ページ

指標 刑務所出所者の就職率 刑務所出所者の就労支援の確立の現状と目標が必要と考える。

### 人々が互いに尊重し合う社会づくりの推進 51 ページ

参考となる主な取組例の企業の例は何をもとにしたものか？ 北海道の中小・小規模企業への 2018 年のアンケート結果では人権意識が低く、取組が少ないという結果が出ている。

指標 労働局などへの相談内容、相談件数も指標に加えるべきではないだろうか？

### 安心して働ける環境づくりの推進 54 ページ

ゴール 4 を追加 安心して働ける会社を選ぶ能力を身に着ける教育が必要である。

道の主な取組 ・ほっかいどう働き方改革センター への相談件数、相談内容、成果、課題があるか知りたい。

・北海道・障がい者就労支援の窓口の企業の利用数、障がい者の利用数、相談内容、成果、課題が知りたい。

指標 ・平均所得の現状と目標値を設定しては？

・障がい者数から見た雇用数の現状と目標も設定しては？

## 優先課題 II

### 豊かな自然と生物多様性の保全の推進 56 ページ

ゴール 4 を追加 自然を保護する重要性を子どもから大人まで継続的に伝えることが重要である。

指標 不法投棄されているゴミの現状と目標値を設定するべきでは？

### 地球環境保全の推進 58 ページ

参考となる主な取組例の 1 番目の企業の例を掲載しているということは今後もメガソー

ソーラ、大規模発電を推進するのか？ 推進すべきは小さな地域単位での新エネルギーであって、大企業依存、大規模開発からの脱却が望まれている。

また、再生可能エネルギーの受入れを積極的に進め、申請を希望する事業を支援する必要がある。

#### 持続可能な生産と消費の推進 60 ページ

ゴール 4 を追加

参考となる取組例 【NPO、市町村、教育機関、道民】「エシカル消費」や「フェアトレード」などの持続可能な生産と消費に関する消費者教育を積極的に推進。

指標 食品ロスの現状と目標の設定が必要ではないか？

#### 地域産業の創造やイノベーションの創出 64 ページ

ゴール 4 を追加 地域産業の創造やイノベーションを創出するためには、付加価値を創造する教育が必要である。

参考となる主な取組例 BtoB BtoC どちらにおいても取引ルールを明確化し、互いに守ることにより、生産性の向上、従業員のストレス減少、イノベーションの創出、所得の向上につながっている。

指標 中小・小規模事業者の IT の利活用の現状と目標を設定する必要があるのでは？

#### 中小・小規模企業の振興 66 ページ

ゴール 3、4、5 を追加

指標 企業の継承率の現状と目標を設定しては？  
開業だけが振興ではない。

指標 企業の継続年数の現状と目標を設定しては？  
3年以上 5年以上 10年以上 20年以上 30年以上 50年以上などに分けて。

以上